

シンキング クランク 「しずく」の使い方

管理釣り場での釣り以外では使用しないこと

手作りであるため、一つひとつに個性があることをご理解ください。

1 はじめに

「しずく」のご利用ありがとうございます。初心者の方や慣れた方にも分かりやすいように、「しずく」について解説します。

2 初心者の方のための使い方

“釣れたときのやり方を再現すれば必ず釣れる”。釣れたときのやり方を紹介します。

<釣り方>

- ① 「しずく」を投げる。着水したら、糸ふけを取る。
- ② ラインと竿がまっすぐになるように竿を構える。
竿とラインを一直線にした後、竿をほんのわずかに右か左に振って角度を付ける。
- ③ リールをゆっくり巻く。
「ゆ〜くり、ゆ〜くり」と唱えながらリールを巻く。「ゆ〜くり、ゆ〜くり」でハンドルを1回転させる。

<リールを巻いているとき、どこを見ているか>

- リールを巻いていてもラインがたるんでいます。一番たるんでいるところからラインが水面にはいるところまでを見えています。
- ラインがピンと張ったり、止まったり、緩んだり、横に動いたりしたら、それは当たりです。すぐに合わせます。

<合わせ方>

- 腕をそのまま後ろに引きます。
竿とラインが一直線になっています。一直線になってる方向にそのまま引きます。
- 掛からなければ、そのまま「ゆ〜くり、ゆ〜くり」巻いてきます。

<棚を探る>

棚(魚が泳いでいる層、魚が釣れる深さ)を探ることが大切です。「しずく」は放っておくと沈んでいきます。これを利用します。「しずく」を投げて着水したら数を数えます。

例えば、次のようにします。

- ① 着水したらすぐに巻き始める。これで釣れなかったら②を行う。
- ② 着水したら「1から5まで」数えてから、巻き始める。これで釣れなかったら③を行う。
- ③ 着水したら「1から10まで」数えてから、巻き始める。これで釣れなかったら更に深いところを探る。

:

3 慣れた方のための使い方

まずは確認のために「初心者の方のための使い方」を一読ください。

① 竿とラインの角度

釣れたときの再現性が大事だと考えています。確実に再現するには、竿とラインをまっすぐにするこトです。しかし、このままだと合わせたときにラインブレイクする危険性があります。これを解決するために、竿とラインを一直線にした後、竿をほんのわずかに右か左に振って角度を付けます。竿の曲がり度でラインブレイクを防ぎます。

② 合わせ方

まっすぐ後ろに引いてもいいですが、肩を軸にして回転させるように腕を引くと良いと思います。引くと同時にリールを少し巻くと更に良いと思います。

後に引く合わせ方が良いところは、もしマスが掛からなくても、クランクの泳層が変わらないので、そのままトリブが続けられることです。竿を上に入れて合わせてしまうと、クランクの泳層が変わってしまいます。

③ リールの巻きスピード

ア) 「ゆ〜くり、ゆ〜くり」と唱えながらリールを巻く。「ゆ〜くり、ゆ〜くり」でハンドルを1回転させる。

イ) ラインを巻き取るとラインがピンと張る。止めると緩む。ラインがピンと張らず緩みきらずの状態になるように巻く。

ウ) ラインを巻き取るとラインがピンと張る。止めると緩む。ラインが緩む分だけ巻き取るイメージで巻く。

ア)イ)ウ)ともに表現は違いますが、同じスピードです。それくらいゆっくり巻きます。

④ 誘い方の例

「初心者の方のための使い方」の〈合わせ方〉で空合わせをする。

合わせ方の説明をしようと空合わせをしたところマスが掛かってきました。それ以来、この方法で誘いを入れるようになりました。複数回、釣った実績があります。

※誘いを入れすぎないこと。入れすぎると、かえって釣れなくなります。

⑤ 棚を探る

フローティングのクランクでは、棚まで泳がせるために助走が必要です。しかし、シンキングのクランクはカウントダウンすれば、助走なしに棚まで届けられます。棚を泳がせる距離が長くなり、掛かるチャンスも大きくなります。

⑥ カラーローテーション

例えば、「黄緑・桃」で釣れているなら、釣れなくなるまで釣り続けるべきです。「釣れるときに釣る」です。「黄緑・桃」で釣れなくなったら、「薄茶」で釣ります。これも釣れなくなったら、「濃茶」を試します。これで釣れなかったら、「黄緑・桃」に戻します。概ね3色でローテーションすればよいと考えています。

「黄緑・桃」、「薄茶」は釣るための色です。

「濃茶」は差し色です。濃茶でも釣れます。

4 おわりに

マスの活性がいつも高いわけではありません。活性が低いとき(下がったとき)に初心者でも釣れるクランクが「しずく」です。釣れない(釣れなくなった)と感じたら、ぜひ「しずく」を試してみてください。